

PHP はサーバで動作する処理を記述する言語です。**サーバの CPU で処理**されます。しかし、ユーザが利用するのはブラウザであり、自分のすぐ近くにある PC の CPU で処理されたものです。ですから、WEBアプリケーションを作成するには**画面のレイアウト**を定義する為の で、サーバへデータへ送る為の入力画面を作成する必要があります。

その際、サーバの為に必須となる要素が **FORM** です。そして、その中に記述されたものが送信データとなります。但し、送信データとなる要素は限られており、 が最も良く使用され、**type 属性**によってその利用方法も変化します。

- 1) **text** 改行のない通常のテキスト入力
- 2) ☐ **複数の選択肢より一つだけ選択できるコントロール**
- 3) ☐ **選択するかしないかの 2 択を表現するコントロール**
- 4) **内容は text と同じだが画面には表示されないコントロール**
- 5) **いわゆるカレンダーコントロール**
- 6) **ファイルアップロードに使用するコントロール**

この他にも type 属性で指定可能な値はありますが、上記は WEBアプリケーションとして**最低限必要な UI を提供**してくれます。

ただ、**7 番目**として の場合は、**サーバへデータを送信する為のボタン**となり、 属性に指定した値が**ボタンの文字列**となります。そして、データをサーバへ送る為のコントロールに必ず必要な属性が 属性であり、**この属性が無ければサーバへは送られません**。また、この属性に指定した値がサーバ側の**スーパーグローバル変数のインデックス部分**にセットされる事になっています。

あと、画面よりサーバへデータを送る要素としてとても重要なコントロールがあり、一般的には『**コンボボックス**』と呼ばれますが、**要素名としては** となります。この要素は 属性を指定するといわゆる『**リストボックス**』というコントロールに変化します。そして、この要素の中に 要素を指定して**選択肢を設定**する事ができます。

この選択肢には、 属性で**サーバへ送りたい値を設定**しておき、利用するユーザにはテキストで意味を表現して**この要素の終了要素で挟んで**表示させます。

最後に、複数改行を入力できないいわゆる**文章を入力可能な要素**が です。**初期値はこの要素の開始要素と終了要素の間に挟んで準備**する事が可能です。